

海外ボランティアが副知事を表敬訪問しました！

令和6年11月21日(木)、独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊として出発する
巢守世那(すもり せな)さん、南部佳穂(なんぶ かほ)さんの2名が 中村副知事を表敬しました。



● 出発隊員 ●

巢守さんは、令和7年1月から2年間、青年海外協力隊としてアフリカのタンザニアに派遣されます。ムワンバオ小学校に配属され、現地の小学生に算数や理科を教えます。

巢守さんは小学生の時に、十分な教育を受けられない子どもたちがいることを知り、将来世界の子どもたちのために役立ちたいと目標を定めたそうです。

タンザニアでは児童の数に対して教師の人数が不足していて、1人1人に目が行き届かず、基礎学習を十分に習得できない子も多いそうです。そうした子供たちに学習の楽しさを教えたいと明るく話していました。

巢守 世那 さん



南部 佳穂 さん



南部さんは、令和6年11月から2年間、青年海外協力隊としてアフリカのマラウイに派遣されます。水・衛生省の中部水公社に配属され、安全な水の確保や森林保全を中心とした啓発活動を行う予定です。

南部さんは大学生の時にベトナムに留学した経験があり、そこで日本が海外のために様々な技術協力を行っていることを肌で感じ、感動。同じように自分も貢献したいという気持ちになったそうです。

現地では水資源を中心とした環境教育に尽力するとともに、福井県のメガネ(特にサングラス)のPRもできたらと考えているそうです。

中村副知事は「タンザニアでは小学校の教育が無償化されたことで児童は増えたが、先生が足りないと聞いている。マラウイは急激に都市化が進行し、森林伐採が問題になっているらしい。どちらも子どもたちへの教育が重要である。現地での活動は大変だと思うが、お二人に接した子どもたちは大きく変わると思う。ぜひ頑張ってください。応援しています。」との言葉をかけられました。



左から
巢守さん、中村副知事、南部さん



左から
国際経済課上藤課長、巢守さん、
中村副知事、南部さん、JICA北陸セン
ター 池田業務課長